

平成28年度
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

1 会議に関する事項

(1) 平成28年度第1回理事会

- 日 時： 平成28年6月2日（木）10時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成27年度事業報告及び決算報告について
議案第2号 平成28年度事業計画変更及び補正予算について
議案第3号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団特定個人情報取扱規程の制定について
議案第4号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団職員退職手当規程の一部改正について
議案第5号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団職員就業規程の一部改正について
議案第6号 会長の選任について

(2) 平成28年度第1回評議員会

- 日 時： 平成28年6月16日（木）10時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成27年度決算報告について
議案第2号 平成28年度事業計画変更及び補正予算について
議案第3号 理事及び監事の選任について
議案第4号 評議員の選任について

(3) 平成28年度第2回理事会

- 日 時： 平成29年3月14日（火）10時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成29年度事業計画及び収支予算について
議案第2号 定年を迎えた事務局職員の任用について
議案第3号 平成28年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(4) 平成28年度第2回評議員会

- 日 時： 平成29年3月24日（金）14時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成29年度事業計画及び収支予算について
議案第2号 理事及び監事の選任及び解任について

(5) 平成28年度第3回理事会

- 日 時： 平成29年3月29日（水）10時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 理事長の選定について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1) 自主公演の開催【年度計画：30公演41回、達成率100%】

30公演41回（定期公演20回,企画公演8回,研究公演1回,普及公演12回）を実施した。

ア 定期公演（17公演 20回）【年度計画：17公演20回】

組踊・琉球舞踊・三線音楽・沖縄芝居・民俗芸能で編成する。伝承されてきた古典の形態を尊重しつつ、必要に応じて上演前に解説を加える等、観客のニーズも勘案し上演している。

公演名	公演数	回数
組踊	7	7
琉球舞踊	6	7
三線音楽（古典音楽・民謡等）	1	1
沖縄芝居	2	4
民俗芸能	1	1

イ 企画公演（7公演 8回）【年度計画：7公演8回】

さまざまなジャンルの比較公演をはじめ、本土の芸能、アジア・太平洋地域を中心とする海外の伝統芸能、新作組踊等で構成する。沖縄伝統芸能の新たな可能性を求め、さらなる発展につながる公演の制作に努めている。

公演名	公演数	回数
組踊（新作組踊等）	2	2
話芸（琉球講談、浪曲等）	1	1
アジア・太平洋地域の芸能	1	1
本土の芸能（寄席）	1	1
その他（我々が住むは五大州Ⅱ等）	2	3

ウ 研究公演（1公演 1回）【年度計画：1公演1回】

組踊はじめ沖縄伝統芸能の活性化を目的に、現在、上演の途絶えている組踊や琉球狂言、御冠船踊などの中から復曲を試みる公演や、学問的な視点から研究に寄与する公演を制作している。

公演名	公演数	回数
「執心鐘入」にまつわる芸能	1	1

エ 普及公演（5公演 12回）【年度計画：5公演 12回】

組踊、琉球舞踊、沖縄芝居の三つのジャンルにおいて、古典に触れる、親しむことを目的に、児童・生徒や社会人等に解説等を交え上演し、新たな観客層の開拓に努める公演を制作している。

公演名	公演数	回数
組踊鑑賞教室	3	8
琉球舞踊鑑賞教室	1	1
沖縄芝居鑑賞教室	1	3

日程・演目・出演者

期 日 等				公演名・演目	出 演 者	
1	普及 公演	4月16日	昼	琉球 舞踊	琉球舞踊鑑賞教室 歌舞劇 「はじめての琉球舞踊～ やぎ・うし・とりと琉球 舞踊～」 「老人老女」「かせかけ」 「高平良万歳」「加那よ 一天川」他	阿嘉修、呉屋かなめ、高宮 城美人、知花小百合、玉城 匠、宇座仁一、安仁屋葉子、 大浜暢明、宮城昭博、奥原 めぐみ、喜屋武まゆみ、比 嘉いずみ他
2	定期 公演	4月23日	昼	組踊	組踊「銘苺子」 第一部 琉球舞踊「鳩間 節」「波平大主道行口説」 「かせかけ」他 第二部 組踊「銘苺子」	佐喜眞一輝、上原崇弘、親 泊久玄、宮城恵子他 宮城能鳳、嘉手苺林一、眞 境名正憲他
3	定期 公演	5月14日	昼	三線 音楽	女性音楽家の会 第一部 独唱(組踊抜粋) 「執心鐘入」干瀬節、「二 童敵討」仲村渠節、散山 節、伊野波節他 第二部 島唄・歌劇「想い」 ・創作舞踊	中島美幸、親川遙、田淵愛 子、玉城あゆみ、豊里美保、 島袋奈美他 長嶺ルーシー、山川まゆみ、 チアキ、瀬名波孝子、嘉数 好子、玉城千枝他
4	定期 公演	5月28日	昼	琉球 舞踊	男性舞踊家の会 第一部 「加那よ一」「川 平節」「日傘踊り」「いち ゅび小」他 第二部 「加那よ一天川」 「むんじゅる」「鳩間節」	宮城茂雄、池間隼人、金城 真次、佐辺良和、大湾三瑠 他 石川直也、新垣悟、上原信 次、大浜暢明、天願雄一他
5	普及 公演	6月11日	昼	組踊	社会人のための組踊鑑賞 教室「二童敵討」 第一部 「組踊版・シンデ レラ」 第二部 組踊「二童敵討」	玉城匠、上原美希子、知花 小百合、池間隼人、上原崇 弘、岸本隼人他 川満香多、田口博章、佐喜 眞一輝、新垣悟他
6	定期 公演	6月18日	昼	琉球 舞踊	「古典女七踊」 「柳」「かせかけ」「天川」 「作田」「本貫花」「伊野 波節」「諸屯」他	比嘉倫子、安座間明美、眞 境名律弘、玉城秀子、花岡 勝子、島袋君子、宮城幸子 他
7	企画 公演	6月25日	昼	話芸	話芸 第一部 「琉球講談・護 佐丸誠忠録」「話芸」 第二部 「浪曲」「うち な一ぐち漫才」	宮城茂雄、志いさ一他 春野恵子、一風亭初月、八 木政男、吉田妙子
8	定期 公演	7月9日 10日	昼 昼	沖縄 芝居	「大新城忠勇伝」 第一部 歌劇「きざみ節」 第二部 史劇「大新城忠 勇伝」	平良進、当銘由亮、中村志 津子、小嶺和佳子、仲嶺眞 永他 神谷武史、宇座仁一、玉城 盛義、佐辺良和、花岡尚子、 嘉陽田朝裕、小嶺和佳子他

期 日 等					公演名・演目	出演者
9	定期公演	7月16日	昼	組踊	組踊「大城崩」 第一部 琉球舞踊「早口説」「高平良万歳」「道輪口説」「取納奉行」他 第二部 組踊「大城崩」	新垣悟、仲程めぐみ、仲宗根千秋、東江裕吉、皆川律子他 金城真次、親泊久玄、真境名律弘、大湾三瑠他
10	普及公演	8月6日	昼	組踊	親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」 第一部 「組踊版・シンデレラ」 第二部 組踊「万歳敵討」	玉城匠、上原美希子、知花小百合、川満香多、岸本隼人、嘉数幸雅他 天願雄一、伊野波盛人、宇座仁一、上原信次、上原崇弘他
11	企画公演	8月27日	昼	組踊	新作組踊「玉露の妖精」 第一部 琉球舞踊「十五夜」「打組鳩問節」「八重山育ち」他 第二部 新作組踊「玉露の妖精」	真境名あき、皆川律子、屋比久舞衣、新城頼里子、多和田美幸、宮城尚子他 廣山えりか、知花小百合、神谷武史、山城亜矢乃他
12	定期公演	9月10日	昼	琉球舞踊	「琉球舞踊特選会」 第一部 「かぎやで風」「仲里節」「語りたや語りたや中秋に舞う」 第二部 「稲まづん」「天川」「新加那よ」喜歌劇「馬山川」	島袋光晴、宮城能鳳、親泊興照、志田房子、玉城節子、佐藤太圭子、谷田嘉子、金城美枝子、宮城幸子、玉城秀子、又吉静江他
13	普及公演	9月15日 16日 17日	昼 昼 昼	沖縄芝居	沖縄芝居鑑賞教室 第一部 喜劇「沖縄芝居入門～つる・かめ・とらと沖縄芝居～」 第二部 舞踊劇「棒しばり」	玉城匠、上原崇弘、川満香多、玉城盛義、花岡尚子、高宮城実人、玉城知世他 当銘由亮、嘉陽田朝裕、知念勝三、高宮城実人他
14	定期公演	9月24日	昼	組踊	組踊「姉妹敵討」	玉城盛義、佐辺良和、田口博章、島袋光尋、宇座仁一他
15	企画公演	10月8日	昼	その他	ゆらていく遊ば 喜劇「羽衣天女其ノ後ノ噺～続・銘苺子～」	佐辺良和、知花小百合、玉城盛義、知念亜希、高宮城実人、花城英樹、宇座仁一、阿嘉修、玉城匠、瀬名波孝子、仲嶺眞永、玉城節子他
16	定期公演	10月22日	昼	組踊	組踊「雪払い」 第一部 琉球舞踊「稲まづん」「貫花」「むんじゅる」他 第二部 組踊「雪払い」	徳元美幸、比嘉梨乃、新垣美佳、喜納彩華、宮城園美他 眞境名正憲、親泊興照、海勢頭あける、親泊久玄、新垣悟、宮城茂雄他

期 日 等				公演名・演目	出演者	
17	企画 公演	10月29日	昼	その他	<p>我らが住むは五大州Ⅱ 第一部 「かぎやで風」「高平良万歳」「月の美しや」「仲里節」他</p> <p>第二部 「遊び仲風」「浜千鳥」「各国のエイサー」</p>	<p>本竹絹子、恩納桃枝、和多エリック春夫、渡久地ダズマン、新垣徳吉、新垣由香</p> <p>大嶺初枝、比嘉ラリサなみえ、仲宗根シャロー良江、レキオス芸能同好会エイサー太鼓</p>
		10月30日	昼	その他	<p>我らが住むは五大州Ⅱ 第一部 「貫花」「鳩間節」「島唄」「沖縄民謡」他</p> <p>第二部 歌舞劇「歌たい舞うたい Galaxy」</p>	<p>美枝子メロー、アララムアマナイア、新垣ブレンド英雄、御冠船歌舞団、パリ三線クラブ</p> <p>渡久地ダズマン、比嘉フェルナンド、阿嘉修他</p>
18	企画 公演	11月12日	夜	本土の 芸能	<p>「国立劇場寄席」 寄席囃子の実演解説、落語、漫才、紙切り</p>	<p>松尾あさ、柳家小三治、柳家さん喬、古今亭志ん陽、林家二楽、ホームラン、柳家やなぎ</p>
19	普及 公演	11月16日 11月17日 11月18日 11月19日	昼 朝 昼 朝 昼 昼	組踊	<p>組踊鑑賞教室「執心鐘入」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「執心鐘入」</p>	<p>仲里綾香 玉城匠、田口博章、玉城盛義、石川直也、新垣悟、岸本隼人、島袋浩大他</p>
20	企画 公演	11月26日	昼	アジア・ 太平洋 地域の 芸能	<p>アジア・太平洋地域の芸能 「胡弓」 第一部 沖縄の胡弓 第二部 大和の胡弓、中国の胡弓、韓国の胡弓</p>	<p>新城清弘、銘苺春政、崎原盛勇、森田夏子、高宮城実人、上地エリサ他 川瀬露秋、菊萌文子、菊央雄司、吉村古ゆう、黄忠釧、林紅、金泳幸、金龍河</p>
21	定期 公演	12月10日	昼	組踊	<p>「創作舞踊の会」 第一部 「慶雲」「桜梅桃李」他 第二部 「花心」「世界果報ちどり」他</p>	<p>島袋秀乃、具志なおみ、上里初枝、島尻ひさみ、瑞慶山和子他 平良恵子、前川美智子、平田弘子他</p>
22	定期 公演	12月17日	昼	組踊	<p>組踊「仲村渠真嘉戸」 第一部 琉球舞踊「若衆ぜい」「清ら思い」「伊野波節」「下り口説」他 第二部 組踊「仲村渠真嘉戸」</p>	<p>比嘉加奈子、時本ひとみ、嶺井清美、親泊ナミ、大湾三瑠他 宮城茂雄、東江裕吉、真境名律弘、嘉手苺林一、親泊久玄他</p>

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
23	定期公演	1月14日 1月15日	昼 昼	琉球舞踊 「新春琉舞名人選」 古典音楽斉唱・舞踊「かぎやで風」「女こてい節」「よらてく節」「取納奉行」「ぜい」「本花風」「日傘踊り」「かせかけ」「櫛の鳩間節」「諸屯」「むんじゅる」「道」	長浜眞勇、宮城勝秀、糸数昌治、銘苅良光、島袋功、照喜名進、上地正隆、平田邦雄、源河徳淳他 又吉世子、金城道枝、渡久地美代子、古謝弘子、高江洲清勝、花岡勝子、宜保雅子、金城清一、船越節子、山田多津子、比嘉美好、宮城豊子、海勢頭あける、山城洋子、宮城能造、島袋君子他
24	定期公演	1月22日	昼	民俗芸能 「沖縄本島民俗芸能祭」 第一部 「首里のキューナ」「稲しり狂言」「南洋浜千鳥」 第二部 「アヤグ」「猿舞」「謝名アヤチ獅子」	首里キューナ保存会、今帰仁村謝名区、名護市久志区、南城市玉城区前川、名護市東江区他
25	定期公演	1月28日	昼	組踊 組踊「執心鐘入」 第一部 琉球舞踊「若水」「琉球古典箏曲」他 第二部 組踊「執心鐘入」	仲嶺麗子、仲嶺絵理奈、仲嶺貞夫、宮里秀明、仲村渠達也、池間北斗他 宮城能鳳、島袋光晴、宮城茂雄、新垣悟、阿嘉修、佐辺良和他
26	定期公演	2月4日 5日	昼 昼	沖縄芝居 沖繩芝居 喜劇 第一部 「米を作る家」 第二部 「こわれた南蛮甕」	仲嶺眞永、宇座仁一、座喜味米子、高宮城実人他 平良進、玉城千枝、玉城静江、高宮城実人、新垣正弘、東江裕吉他
27	研究公演	2月19日	昼	民俗芸能 執心鐘入にまつわる芸能～上平川大蛇踊り～ 第一部 鼎談、創作舞踊「一道」「鐘魔の鬼気」 第二部 「上平川大蛇踊り」	島袋光晴、宮城竹茂、島袋秀乃、田口博章、佐辺良和、川満香多他 上平川大蛇踊り保存会
28	定期公演	2月25日	昼	組踊 組踊「父子忠臣の巻」 第一部 琉球舞踊「天川」「江佐節」「柳」他 第二部 組踊「父子忠臣の巻」	高嶺美和子、根路銘広美、石川直也他 神谷武史、平田智之、親泊久玄、真境名律弘、宇座仁一他
29	定期公演	3月11日	昼	琉球舞踊 琉球舞踊鑑賞会「早春の舞・群舞」 第一部 「昇る若太陽」「浜下り」「海の幸」他 第二部 「はりく美童」「今帰仁道行」「恋しくガナー」	柳清本流和華の会、島袋本流紫の会、阿波連本流啓扇会他 宗家眞境名本流眞薫会、玉城流扇寿会、玉城流玉扇会他

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
30	企画 公演	3月25日	昼	組踊 新作組踊「さかさま『執心鐘入』」 第一部 語り組踊「執心鐘入」 第二部 新作組踊「さかさま『執心鐘入』」	眞境名正憲、親泊久玄、石川直也、新垣悟他 東江裕吉、宮城茂雄、阿嘉修、宇座仁一、知花小百合、川満香多、佐辺良和、大湾三瑠他

自主公演入場率

	月	日	公演名		実績			計画		
					座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	座席数 (c)	目標 入場者数 (d)	目標 入場率 (d)/(c)
1	4月	16日	琉球舞踊鑑賞教室	昼	568席	338人	59.5%	619席	464人	75.0%
2		23日	「銘苺子」	昼	567席	393人	69.3%	565席	339人	60.0%
3	5月	14日	女性音楽家の会	昼	621席	363人	58.5%	619席	402人	64.9%
4		28日	男性舞踊家の会	昼	623席	555人	89.1%	619席	495人	80.0%
5	6月	11日	社会人のための組踊鑑賞教室「二童敵討」	昼	578席	413人	71.5%	565席	424人	75.0%
6		18日	古典女七踊	昼	621席	309人	49.8%	565席	367人	65.0%
7		25日	話芸	昼	621席	268人	43.2%	619席	402人	64.9%
8	7月	9日	史劇「大新城忠勇伝」	昼	568席	409人	72.0%	566席	368人	65.0%
9		10日	史劇「大新城忠勇伝」	昼	579席	405人	69.9%	579席	376人	64.9%
10		16日	「大城崩」	昼	563席	288人	51.2%	565席	339人	60.0%
11	8月	6日	親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」	昼	578席	343人	59.3%	565席	424人	75.0%
12	8月	27日	新作組踊「玉露の妖精」	昼	564席	433人	76.8%	565席	367人	65.0%
13	9月	10日	琉球舞踊特選会	昼	623席	565人	90.7%	619席	464人	75.0%
14		15日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	568席	469人	82.6%	566席	453人	80.0%
15		16日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	579席	483人	83.4%	579席	463人	80.0%
16		17日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	579席	293人	50.6%	579席	463人	80.0%
17		24日	「姉妹敵討」	昼	567席	218人	38.4%	565席	339人	60.0%
18	10月	8日	ゆらていく遊ば	昼	568席	343人	60.4%	566席	453人	80.0%
19		22日	「雪払い」	昼	563席	237人	42.1%	565席	339人	60.0%
20		29日	我らが住むは五大州Ⅱ	昼	619席	548人	88.5%	619席	402人	65.0%
21		30日	我らが住むは五大州Ⅱ	昼	619席	319人	51.5%	632席	411人	65.0%
22	11月	12日	「国立劇場寄席」	夜	621席	560人	90.2%	619席	433人	70.0%
23		16日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	昼	578席	458人	79.2%	565席	452人	80.0%
24		17日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝	578席	492人	85.1%	578席	462人	80.0%
25		17日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	昼	578席	388人	67.1%	578席	463人	80.1%
26		18日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝	578席	493人	85.3%	578席	462人	80.0%
27		18日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	昼	578席	442人	76.5%	578席	463人	80.1%
28		19日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	昼	578席	311人	53.8%	578席	462人	80.0%
29		26日	アジア・太平洋地域の芸能「胡弓」	昼	621席	263人	42.4%	619席	371人	59.9%

	月 日	公演名	実績			計画			
			座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	座席数 (c)	目標 入場者数 (d)	目標 入場率 (d)/(c)	
30	12月 10日	創作舞踊の会	昼	621席	417人	67.1%	619席	402人	64.9%
31	17日	「仲村渠真嘉戸」	昼	568席	385人	67.8%	565席	339人	60.0%
32	1月 14日	新春琉舞名人選	昼	621席	254人	40.9%	619席	371人	59.9%
33	15日	新春琉舞名人選	昼	621席	285人	45.9%	619席	371人	59.9%
34	22日	沖縄本島民俗芸能祭	昼	568席	320人	56.3%	566席	425人	75.1%
35	28日	「執心鐘入」	昼	567席	456人	80.4%	565席	339人	60.0%
36	2月 4日	喜劇「米を作る家」・「こわれた南蛮甕」	昼	621席	247人	39.8%	566席	368人	65.0%
37	5日	喜劇「米を作る家」・「こわれた南蛮甕」	昼	632席	219人	34.7%	579席	376人	64.9%
38	19日	「執心鐘入」にまつわる芸能	昼	603席	233人	38.6%	619席	402人	64.9%
39	25日	「父子忠臣の巻」	昼	567席	418人	73.7%	565席	339人	60.0%
40	3月 11日	琉球舞踊鑑賞会	昼	621席	418人	67.3%	619席	433人	70.0%
41	25日	新作組踊「さかさま『執心鐘入』」	昼	621席	522人	84.1%	565席	396人	70.1%
合 計				24,277席	15,573人	64.1%	24,060席	16,683人	69.3%

【年度計画：16,683人、達成率93.3%】

(2) 県外公演の開催【年度計画：2回】

県外二カ所(京都府、大阪府)において、組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力発信した。

- ・京都公演：平成28年6月5日(日)／京都芸術劇場春秋座／1ステージ
- ・大阪公演：平成29年2月12日(日)／大阪・山本能楽堂／2ステージ

(3) 自主公演の開催準備

平成29年度開催の自主公演のあり方等について検討するため、公演事業委員会を平成28年8月3日、平成29年3月28日に開催した。

(4) 沖縄県文化観光戦略推進事業(マグネットコンテンツのつくり込み)

沖縄県文化観光戦略推進事業を活用し、「組踊版・スイミー」(平成28年11月2日～4日)を上演した。

(5) 国立劇場おきなわ普及促進事業

沖縄県と国立劇場おきなわの共催により、当劇場の公演を鑑賞する機会が少ない地域(金武町立中央公民館(11/1)、竹富町西表・中野わいわいホール(11/23))において県内巡回公演を実施した。

また、観劇に要する貸切バス費用を助成する貸切バス費用助成事業(30名以上の団体を対象)、託児サービス(於：8/27新作組踊「玉露の妖精」)及びうちなーぐち講座(於：9/17沖縄芝居鑑賞教室)を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。

(6) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演チラシ等の作成・配布

- (ア) 公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。
- (イ) チラシラックを県庁、観光関連施設、道の駅等に設置し、チラシを自由に取ってもらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス（360団体）にチラシを配布した。
- (ウ) 沖縄コンベンションビューロー（OCVB）賛助会員に加盟し、OCVBの各事務所、那覇空港出張所等に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

イ 看板、ポスター等掲出

- (ア) 劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。
- (イ) 沖縄都市モノレールの窓上広告として、年間を通じて施設案内のポスターを掲示した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

- (ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄にて公演告知を行った。 琉球新報の「琉球芸能ガイド」で公演紹介とチケットプレゼントを行った。 沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーで公演紹介とチケットプレゼントを行った。 琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄にて公演告知と、広告欄にて広告掲載を行った。
ラジオ	FM沖縄とラジオ沖縄にてラジオCMを行った。
Web	「ぴらつか暦」「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-」「ふくおかサポートネット」「Yahoo!ロコ」「古典文化の友」「長尾さんの観光案内所」「ウォーカープラス」「沖縄LIKES」「たびらい沖縄」「ちゅらとく」「じゃらんnet」
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」「ぴらつか暦」「おきなわ倶楽部」（以上月刊誌）、「JAL機内配布クーポン誌 ちゅらナビ」「にぎやか談話室」（以上季刊誌）、「そらくる沖縄」（年1回）

- (イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

新聞	沖縄タイムス、琉球新報
テレビ	NHK、QAB
ラジオ	ラジオ沖縄、RBCiラジオ、FM沖縄、FMレキオ、タイフーンFM、FMよみたん
Web	「文化庁月報」「エンタ魂」「沖縄島ガール」「Japan Update」「Okinawa Living」「RQ+」「うらそえナビ」「古典文化の友」「チラシステージ」「ぷらっとママ倶楽部」「じゃらん」
雑誌	「Island Guide」「美ら島沖縄」「おきなわ倶楽部」「沖縄総合事務局局報 群星」「地域創造レター」

エ ポスター等展示による劇場外イベント

(ア) 国立劇場開場50周年記念公演

平成29年3月4日(土)～3月5日(日)(本館・小劇場)で催された国立劇場開場50周年記念公演、「組踊『執心鐘入』と琉球舞踊」公演に併せ、国立劇場おきなわ広報宣伝ブースにて、芸能関連資料及び沖縄観光情報(パンフレット・チラシ・ポスター等)を設置し、組踊の解説DVDの放映を行った。

(イ) 国立劇場おきなわ県外公演

平成28年6月5日(日)、京都芸術劇場春秋座で催された国立劇場おきなわ県外公演、「琉球舞踊と組踊『銘苺子』」において、チラシ、ポスター及びパンフレットの配布、組踊の紹介DVDの放映等を行った。

平成29年2月12日(日)山本能楽堂で催された国立劇場おきなわ県外公演「琉球舞踊～男性舞踊家の会～」において、チラシ、ポスター及びパンフレットを配布した。

オ その他

(ア) 公演解説書「華風」を月単位で発行し、販売した。

(イ) 平成28年度自主公演年間予定表の多言語版(英語・繁体語・簡体語・韓国語)を制作し、観光施設等で配布した。

(ウ) 沖縄の伝統芸能パンフレットのA3サイズ多言語版(英語・繁体語・簡体語・韓国語)を制作し、観光施設等で配布した。

(エ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、HPへの掲載及び劇場等での配布を行った。

(オ) 2017年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び及び配付を行った。

(カ) 10月企画公演「ゆらていく遊ば」において、カレンダー、劇場グッズの販売を行い、ファン感謝デーと銘打った公演を盛り上げた。

(キ) 1月琉球舞踊公演「新春琉舞名人選」の新春公演では、2日間で延べ200名に呈茶を実施し、幕間に抽選による観客へのお年玉プレゼント(カレンダー、劇場グッズなどの詰め合わせ)を行い、新春公演の雰囲気盛り上げた。

(ク) 6月企画公演「話芸」・7月組踊公演「大城崩」・8月普及公演「万歳敵討」・2月沖縄芝居公演「米を作る家」・「こわれた南蛮壺」・研究公演「執心鐘入」にまつわる芸能・3月公演「さかさま『執心鐘入』」において、劇場ロビーでパネル展示等を行った。

(7) バックステージツアーについて

地域への還元を図り、劇場への理解を深める機会を設けるため、「劇場バックステージツアー」を平成28年7月30日・31日に計2回実施し、計93名が参加した。

3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊(立方・地方)の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

(1) 研修の実施(第4期組踊研修:平成26年4月～平成29年3月)【計画:10名】

組踊(立方・地方):第4期(10名)の3年目の研修を実施。

立方5名及び地方5名(歌三線4名、笛1名)

(2) 主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか(総勢17名)

(3) 養成状況

ア 主な授業 組踊実技(立方、三線、笛)、副実技(琉球舞踊、箏、胡弓、太鼓)、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、琉球芸能史、琉球古典語基礎、発表会等

- イ 授業回数 合計316回
 - ・組踊実技の実施（90分の150回）
 - ・副実技の実施（90分の35回）
 - ・基礎実技の実施（90分の99回）
 - ・講義研修（特別講義含む）の実施（90分の25回）
 - ・鑑賞・見学研修の実施（90分の5回）
 - ・研修発表会の実施2回（リハサル2回）（4回）

- ウ 休暇等 夏季休暇 平成28年8月15日～8月24日
 冬季休暇 平成28年12月12日～平成29年1月4日

(4) 研修生発表会の実施

- ア 第四期組踊研修生第5回発表会：平成28年10月14日、国立劇場おきなわ大劇場
 演 目：組踊「女物狂」、琉球古典音楽独唱
 鑑賞者数：446名
- イ 第四期組踊研修修了発表会：平成29年3月2日、国立劇場おきなわ大劇場
 演 目：組踊「花売の縁」
 鑑賞者数：520名

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

- ア 組踊研修講師会議の実施（年間4回）
- イ 養成事業委員会の開催
 組踊養成事業に関する現状及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を平成29年3月3日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

- ア 組踊既成者研修第6回発表会：平成28年12月3日、国立劇場おきなわ大劇場
 演目：組踊：「伏山敵討」、斉唱、独唱
 鑑賞者数：236名

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	40	269	49	358
逐次刊行物	冊	86	141	22	249
公演・演出台本	冊	0	10	25	35
上演資料集	冊	0	22	6	28
合 計		126	442	102	670

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	0	31	31
録画テープ(VHS)	本	0	0	0	0
録画テープ(DVCAM)	本	0	0	54	54
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	54	54
DVD	枚	0	5	57	62
組踊等衣装	着	0	0	1	1
レコード・CD	枚	0	0	0	0
ポスター	枚	0	0	65	69
チラシ	冊	0	57	31	88
展示図録	点	0	16	0	16
冊子	点	0	0	0	0
合 計		0	78	293	371

(2) 上演資料集

国立劇場おきなわの自主公演より演目を選び、上演記録、演技・指導に関する資料・論文等を収録し、演技演出の向上に活用するため刊行した。「雪払い」、「執心鐘入」、「仲村渠真嘉戸」の3演目を合計690冊刊行し、各関係機関・研究機関へ配付した。

(3) 展示

国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示することで沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるために実施した。

期 間	名 称	内 容
平成28年 4月16日(土) ～6月26日(日) 72日	第一回 企画展 「はじめての琉球舞踊」	琉球舞踊について、「老人踊」「女踊」「雑踊」「若衆踊・二才踊」のカテゴリ毎に衣装や小道具を展示し、初心者や観光客向けにその特徴や魅力について紹介。また、国立劇場より借用した公演記録(写真・映像)から、今は亡き実演家や大御所の若き日の姿を紹介し、研究者や若手実演家に向けても参考となる展示を実施。合わせて、戦前、東京で上演された琉球芸能を記録した画家・片山春帆による画帳を展示。
平成28年 7月9日(土) ～9月18日(日) 72日	第二回 企画展 「沖縄芝居-史劇-」	沖縄芝居の中でも「史劇」を取り上げ、作品の解説と魅力について、写真や衣装、大道具帳や台本等を展示。また、戦後、沖縄民政府の直轄で運営された劇団のうち、竹劇団団長・平良良勝氏が使用していた衣装や写真資料等を展示し、当時の沖縄芝居の状況等について紹介。合わせて、戦後の史劇について、船越義彰氏、金城哲夫氏、大城立裕氏の手書きの台本や上演写真等を展示。

期 間	名 称	内 容
平成28年 10月8日（土） ～12月18日（日） 72日	第三回 企画展 「組踊入門」	組踊について、初めて鑑賞する方や国内外の観光客にも判りやすいよう、衣装や道具、台本等を使って紹介。また、外国人向けに多言語（英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語）の翻訳パンフレット及び展示解説リーフレットを設置・無料配付し、組踊作品の魅力を紹介。
平成29年 1月14日（土） ～3月19日（日） 65日	第四回 企画展 「チョンダラーの芸能」	沖縄の民俗芸能集団「チョンダラー（京太郎）」について、沖縄各地に伝わる民俗芸能の写真・衣装や小道具を展示するとともに、今は途絶えたチョンダラーの芸能が組踊や沖縄芝居などに残した痕跡なども紹介。また、チョンダラー芸能の一つ「馬舞者」は本土の「春駒」系統であるが、特に新潟県佐渡島の「春駒」との共通性が見られるため、佐渡博物館所蔵の「春駒」資料も合わせて紹介。

4回の企画展示の入場者数合計（カウント数）：12,221人（281日間）

【年度計画：目標来場者数12,000人（達成率102%）、計画日数281日】

（4）公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 自主公演30公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演（2回）の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数合計329人。【年度計画：4回、480人（達成率69%）】

（5）図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

ア 活用実績

レファレンスルーム利用者2,656人（うち一般841人）

映像・音声視聴1,151件（1,245時間）、映像・音声複製38件（68時間）

公開資料：平成16年度～28年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

（6）展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、沖縄県と共催した「国立劇場おきなわ普及促進事業」による県内巡回公演（金武町立中央公民館（11/1））に合わせて、施設ロビーで組踊の紹介を中心とした展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

平成28年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	6	6	
演劇	4	7	
舞踊	21	35	
古典音楽	2	4	
民謡	0	0	
民俗芸能	2	4	
その他	8	11	講演会等
計(1)	43	67	利用可能日数108日
目標日数		65	
達成率		103%	

※平成27年度の実績と比較すると、件数で1件の減、使用日数で2日の増。

イ 小劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	10	13	
演劇	5	9	
舞踊	25	50	
古典音楽	7	12	
民謡	1	2	
民俗芸能	0	0	
その他	22	22	講演会等
計(2)	70	108	利用可能日数185日
目標日数		131	
達成率		82%	

※平成27年度の実績と比較すると、件数で29件の減、使用日数で30日の減。

ウ 大劇場+小劇場

合計 (1)+(2)	件数	使用日数	達成率	※平成28年度計画における 目標使用日数：196日
	113	175	89%	

※平成27年度の実績と比較すると、件数で30件の減、使用日数で28日の減。

エ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	136件	575.5時間
中稽古室	321件	889.0時間
第1小稽古室	352件	954.5時間
第2小稽古室	438件	1,268.5時間
第3小稽古室	400件	1,045.0時間
第5小稽古室	361件	862.5時間
第6小稽古室	437件	1,109.5時間
交流プラザ	75件	201.0時間
養成研修室	204件	541.5時間
会議室	7件	21.0時間
合計	2,731件	7,468.0時間

※平成27年度の実績と比較すると、件数で420件の増、使用時間で876時間の増。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

- ア 施設利用の情報をホームページに掲載し、また、貸劇場の空き日状況を掲載した。
- イ 劇場利用のご利用案内を校正・増刷し、貸劇場の広報宣伝を行った。
- ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。
- エ 平成29年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。
- オ 稽古室のご利用案内を増刷し、館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

(1) 業務委託費

- ア 警備業務請負契約
- イ 清掃業務請負契約
- ウ 施設運転監視業務請負契約
- エ 舞台技術常駐業務請負契約
- オ 劇場案内等業務委託契約

(2) 機械保守費

- ア 中央監視システム保守点検業務請負契約
- イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
- ウ 舞台機構保守請負契約
- エ 音響設備定期保守業務請負契約
- オ 照明設備定期保守業務請負契約
- カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

7 前述の業務に附帯する業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加を図った。

会員数推移

年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952	1,992	1,810

平成29年3月末現在会員数：1,810人【年度計画：2,200人、達成率82.3%】

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施：自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、次のとおり会員対象のイベントを開催した。

(ア)「半日バスツアー及び公演鑑賞会」：平成28年12月17日、参加人数40名。バスにて豊見城市総合運動公園、瀬長島、大度海岸等を巡る南部歌碑巡りを行い、垣花武信氏が講師を務めた。その後、劇場において、組踊公演「仲村渠真嘉戸」の鑑賞を行った。

(イ)「新春講演会」：平成29年2月25日、参加人数160名。小劇場において、島袋光晴先生（国指定重要無形文化財「組踊」（総合認定）保持者）を講師に迎え、嘉数道彦（当劇場芸術監督兼企画制作課長）を聞き手に、島袋光晴先生のこれまで歩まれてきた芸の道に関して講演会を実施した。

ウ 新規入会キャンペーンの実施：新規会員の入会を促すことを目的として、次の「友の会新規入会キャンペーン」を平成29年2月13日から実施し、同年9月30日まで継続予定。

(ア)「ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン」：既存会員から紹介を受けて新規入会した場合、入会者及び紹介者へ特典として自主公演50%割引券を進呈。

(イ)「Web新規入会促進キャンペーン」：Webチケット販売サービスから入会した場合、特典として自主公演50%割引券を進呈。

(2) 寄付金の実績

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

(単位：千円)

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	金額	1,070	350	450	1,870
収入	件数	14件	3件	22件	39件

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場募金を募った。

(単位：千円)

		職場
募金収入	金額	466
	件数	133件

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（文化観光基盤整備事業）

沖縄県文化観光戦略推進事業を活用し、観光客を誘客するための仕組の構築、効果的な宣伝方法の検証等を目的に、次の取組を実施した。

ア プロモーション事業

(ア) ツーリズムEXPOジャパン2016（平成28年9月23日～26日、東京ビッグサイト）

劇場専用ブースにて芸能関連資料の設置（パンフレット・チラシ・ポスター等）や宣材素材（チラシ・パンフレット）の配布、舞踊家・演奏家によるステージパフォーマンス、来場者との交流を行った。（イベント来場者数185,844人、パンフレット類2,000部配布、アンケート250名）

(イ) ふるさと祭り東京2017（平成29年1月10日～13日、東京ドーム）

劇場専用ブースにて芸能関連資料、三線や三板等の楽器・紅型衣裳の展示を行った。また、舞踊家・演奏家によるステージパフォーマンス、来場者との交流を行った。（イベント来場者数405,389人、パンフレット類1,000部配布、アンケート250名）

イ 組踊ワークショップ事業

自主公演（組踊関連公演）の開演前に、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップを8回開催し、旅行業者と連携し組踊鑑賞ツアーを造成することで、県外観光客等の誘客を図った。

ウ 県外組踊ファンミーティング事業

県外において、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップ及び実演家との交流会を含むファンミーティングを3回開催することで、県外における組踊の普及啓発、県外公演や組踊鑑賞ツアーへの誘客を図った。

・平成29年1月8日 13:30～15:30、大阪-ホテルプリムローズ大阪、参加者数17人

・平成29年2月11日 14:00～16:00、名古屋-笹島会議室、参加者数26人

・平成29年2月18日 14:00～16:00、東京－富士ソフトアキバプラザ、参加者数9人

オ 宣伝広告費関係

(ア)パンフレットなどの販促物の作成

① 多言語パンフレット

沖縄伝統芸能の魅力を紹介する多言語表示（日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語）のパンフレットを作成し、外国人来館者や県外での公演、観光関連イベントなどで配布した。

② クリアファイル

組踊を題材にした簡易手提げ袋兼クリアファイル（A4版、6,000部）を作成し、観光関連イベントなどで配布した。

(4) 劇場ホームページの充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 平成28年度アクセス件数 330,365件（1日平均905件）【年間計画：273,568件、達成率121%】

イ メールマガジン（月1回発行）登録件数664件。（平成29年3月末時点）

ウ 公式Facebookページを平成26年11月に開設。「いいね！」件数1,293件。（平成29年3月末時点）

(5) 文化プログラム

ア 来場する外国人に対応するため、電話通訳サービスを導入した。また、平成28年11月19日（土）の普及公演 組踊鑑賞教室「執心鐘入」においては、外国語オーディオガイド（英語・中国語・韓国語）を導入し、同公演前には、外国人のための組踊ワークショップを開催した。

イ ホームページのセキュリティの強化を図り、更なる観光推進を促すため、多言語化や携帯端末の対応ができるようにリニューアルした。

ウ 企画展示においては、外国人向けに、外国語（英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語（繁体字・簡体字）韓国語）の翻訳パンフレット及び展示解説リーフレットを設置・無料配付し、組踊作品の魅力を紹介した。